

Market Watching

発表日: 2019年8月19日(月)

注目されるジャクソンホール講演(マーケットウィークリー)

～パウエル議長と市場の乖離はいかほどか～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
8月12日(月)	—				
8月13日(火)	日本: 企業物価指数 (7月)	0.0%	+0.1%	▲0.5%	前月比
	日本: 機械受注統計 (6月)・船電除く民需	+12.5%	▲1.1%	▲3.7%	前年比
	米国: 消費者物価指数 (7月)・総合	+1.8%	+1.7%	+1.6%	前年比
	・コア	+2.2%	+2.1%	+2.1%	前年比
8月14日(水)	中国: 鉱工業生産 (7月)	+4.8%	+6.0%	+6.3%	前年比
	中国: 小売売上高 (7月)	+7.6%	+8.7%	+9.8%	前年比
	中国: 固定資産投資 (7月)	+5.7%	+5.9%	+5.8%	年初来前年比
	ドイツ: 実質GDP (4-6月速報値)	▲0.1%	0.0%	+0.4%	前期比
	ユーロ: 実質GDP (4-6月改定値)	+0.2%	+0.2%	+0.2%	前期比
	ユーロ: 鉱工業生産 (6月)	▲1.6%	▲1.0%	+0.9%	前月比
8月15日(木)	ワシントン: 金融政策委員会	1.25%	1.25%	1.25%	中銀預金金利
	米国: 小売売上高 (7月)・全体	+0.7%	+0.2%	+0.4%	前月比
	・除自動車	+1.0%	+0.4%	+0.4%	前月比
	米国: 鉱工業生産指数 (7月)	▲0.2%	+0.2%	▲0.0%	前月比
	米国: フィテッドミア連銀製造業景況感指数 (8月)	+16.8	+10.0	+21.8	ポイント
	米国: NY連銀製造業景況感指数 (8月)	+4.8	+3.3	+4.0	ポイント
	メキシコ: 金融政策決定会合	8.00%	8.00%	8.25%	銀行翌日物金利
8月16日(金)	米国: 住宅着工件数 (7月)	119.1	126.0	125.3	万件
	米国: ミシガン大学消費者信頼感指数 (8月速報値)	92.1	98.0	98.4	ポイント
8月17日(土)	—				
8月18日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.554	▲19.1	▲37.3	▲113.9	1.724	1.887	2.290
日本	-0.235	▲1.0	▲11.0	▲33.5	-0.173	-0.130	-0.050
ドイツ	-0.685	▲10.9	▲44.1	▲100.5	-0.457	-0.294	-0.012
豪州	0.884	▲7.4	▲51.9	▲167.2	1.155	1.368	1.880
株価							
NYダウ	25886.01	▲1.5	▲5.3	+1.3	26652	26286	25568
日経平均	20418.81	▲1.3	▲5.2	▲8.0	21142	21223	21255
euroSTOXX50	3329.08	▲0.1	▲5.5	▲1.4	3424	3416	3300
上海総合	2823.82	+1.8	▲3.9	+4.4	2873	2906	2842
為替相場							
ドル/円	106.38	+0.7	▲1.7	▲4.1	107.24	108.28	110.09
ユーロ/円	117.96	▲0.3	▲2.8	▲6.5	119.81	121.47	124.29
豪ドル/円	72.13	+0.6	▲5.0	▲10.4	73.79	75.00	77.75
ユーロ/ドル	1.109	▲1.0	▲1.1	▲2.5	1.117	1.122	1.129
商品市況							
WTI	54.87	+0.7	▲4.8	▲16.2	55.69	57.07	56.06
金	1512.5	+1.1	+7.2	+28.6	1454	1378	1317

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (8/10~8/16) の金融市場は、中国の弱めの経済指標などを受けて、米10年債利回りと2年債利回りが逆転、株価が急落する場面も見られるなど、引き続き不安定な動きとなった。予想外の結果となったアルゼンチンの大統領予備選挙や、緊張感が高まる香港情勢なども市場のセンチメントを悪化させた。ただし、週後半は米小売売上が強めの結果となったことなどを手がかりに持ち直した。なお、ドル/円相場はほぼ横ばい圏から、若干円安気味の推移となった。

今週のマーケットは、注目度の高い経済指標の発表はないものの、FOMC議事録の公表やパウエルFRB議長のジャクソンホール講演などを手がかりに、先行きの米金融緩和のタイミングや回数などに対する思惑が市場の動きを左右しよう。足元の米FF金利先物価格の水準から判断すると、市場では9月と10月のFOMC時での0.25%ずつの利下げをほぼ100%の確率で織り込んでいる。その後は、来年1月までに1回、7月までにもう1回の利下げを織り込む格好となっている。ジャクソンホール講演でこれに沿うような内容の話が出れば、市場の安心感が高まろう。FRBとすれば、市場に過剰な期待を抱かせるのは得策ではないと考える一方で、製造業部門での減速傾向が続いているうえ、米中関係や世界経済の動向も逆風な中、景気を支える力を強める余地はまだあると判断しているだろう。市場が期待しているような累計で1%以上の利下げは必要ではないと考えているとしても、わざわざ否定して市場の混乱を強めるデメリットよりも、敢えて否定しないことによって市場が落ち着くメリットの方が、将来的には政策の自由度を増すことに繋がると思われる。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
8月19日(月)	日本：貿易統計(7月)・輸出 ・輸入 ・貿易収支	★★	▲2.3% ▲2.3% ▲1,945	▲6.6% ▲5.2% +5,896	前年比 前年比 億円
8月20日(火)	—				
8月21日(水)	米国：中古住宅販売件数(7月)	★	538	527	万件
8月22日(木)	インドネシア：金融政策決定会合 ユーロ：PMI製造業景気指数(8月)	★ ★★	5.75% 47.0	5.75% 46.5	7日物リバースレボ金利 ポイント
8月23日(金)	日本：全国消費者物価指数(7月)・総合 ・除生鮮食品 米国：新築住宅販売件数(7月)	★ ★ ★	+0.5% +0.6% 64.0	+0.7% +0.6% 64.6	前年比 前年比 万件
8月24日(土)	—				
8月25日(日)	—				

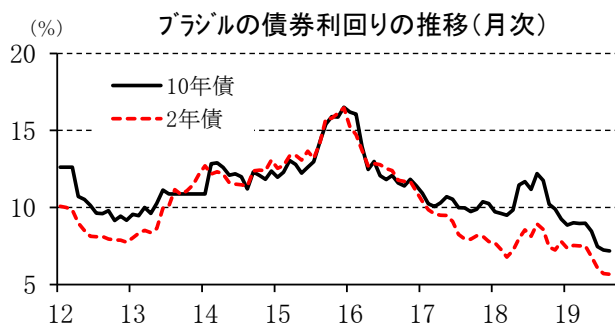
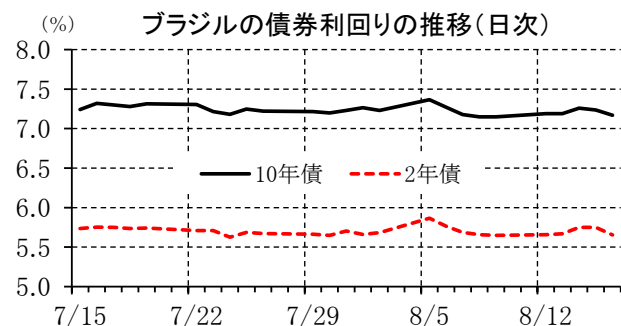
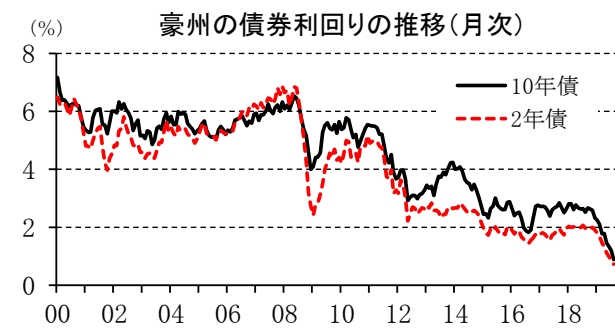
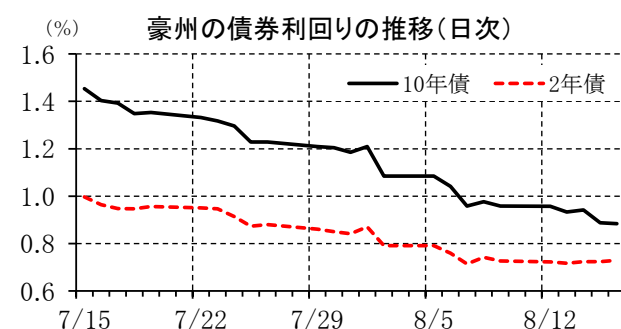
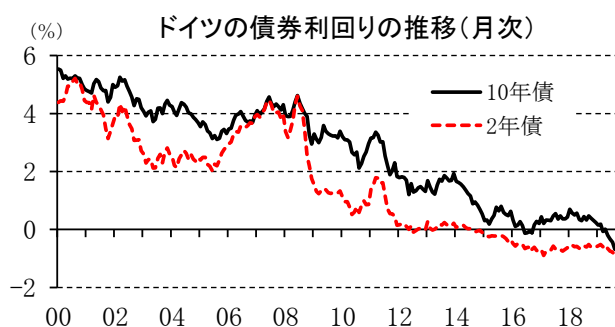
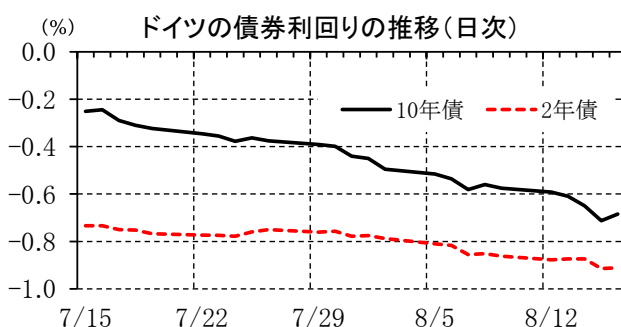
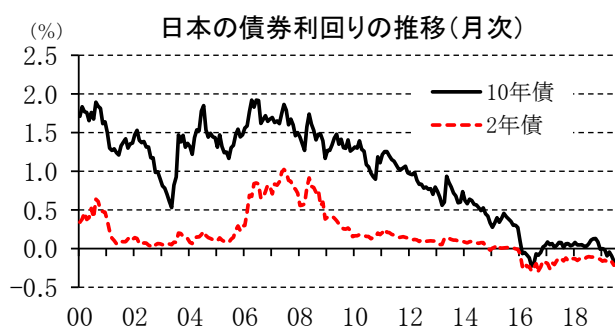
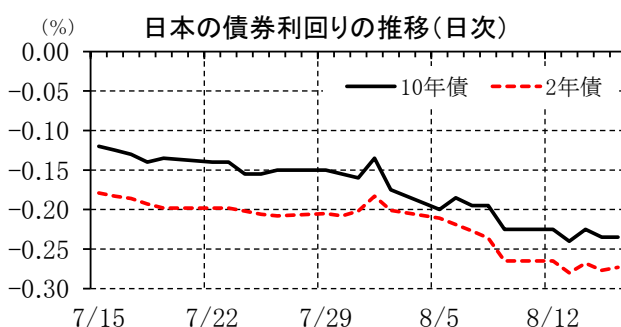
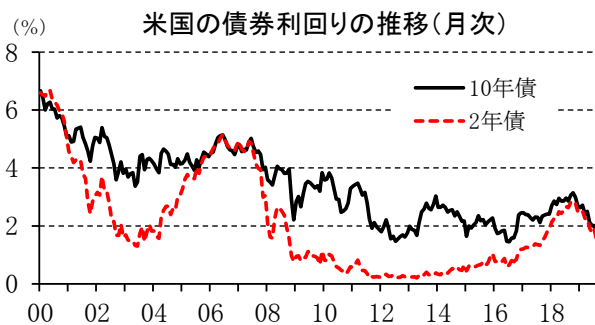
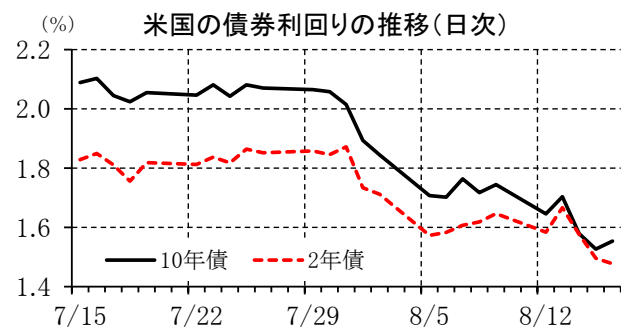
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

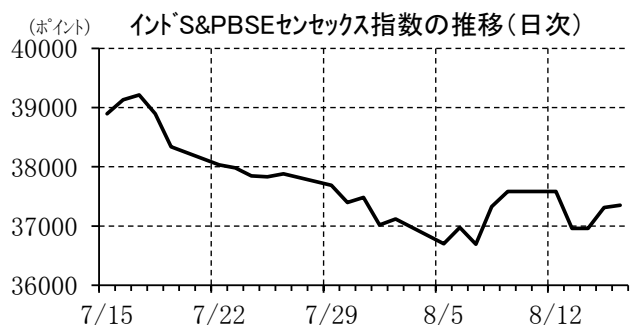
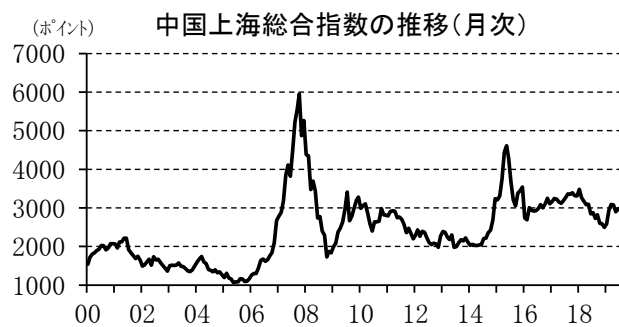
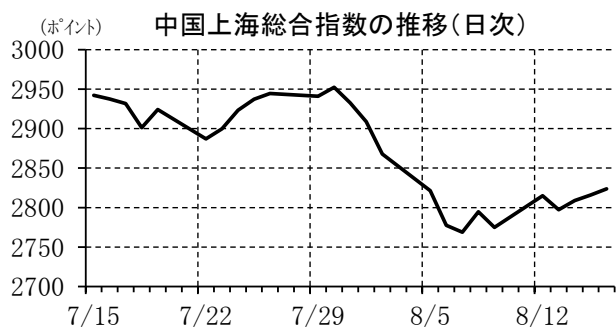
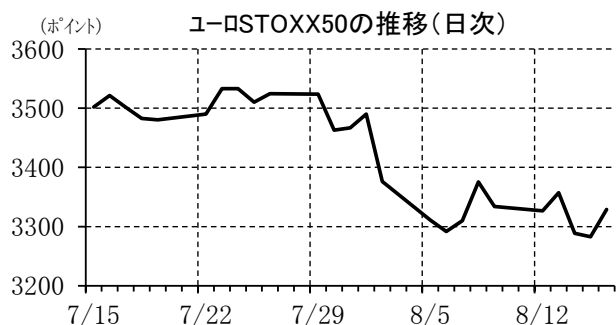
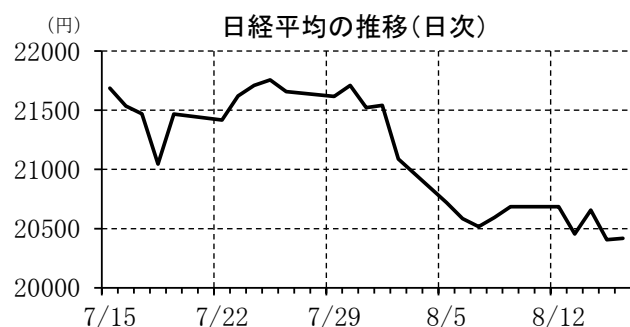
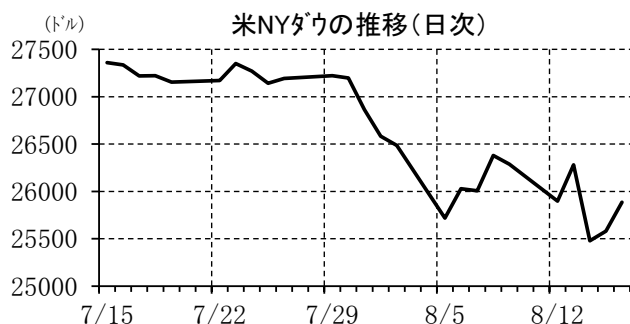
発表日	イベント	注目度	備考
8月19日(月)	—		
8月20日(火)	米国：クオールズFRB副議長講演	★	
8月21日(水)	米国：FOMC議事録(7月分) 日米閣僚級貿易交渉(～7/22)	★★ ★★	
8月22日(木)	ユーロ：ECB理事会議事要旨(7月分)	★	
8月23日(金)	米国：パウエルFRB議長講演(ジャクソンホール)	★★★	
8月24日(土)	G7首脳会議(～7/26)	★★★	
8月25日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

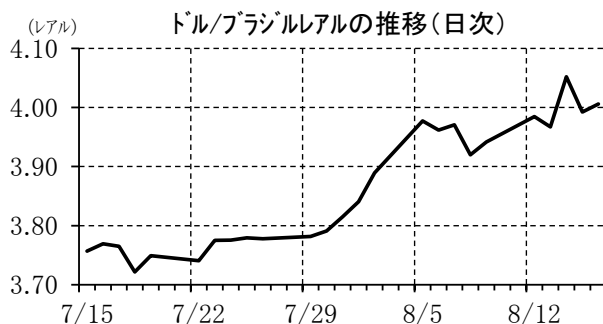
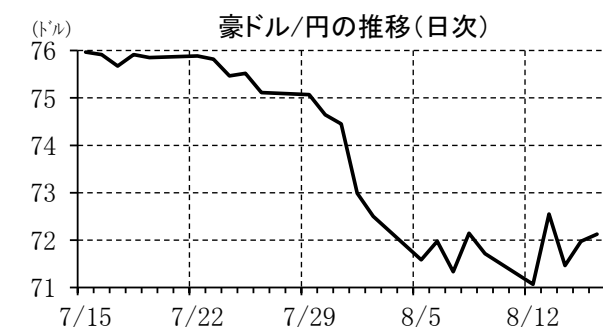
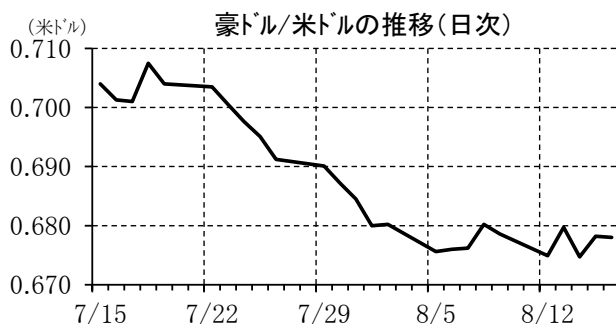
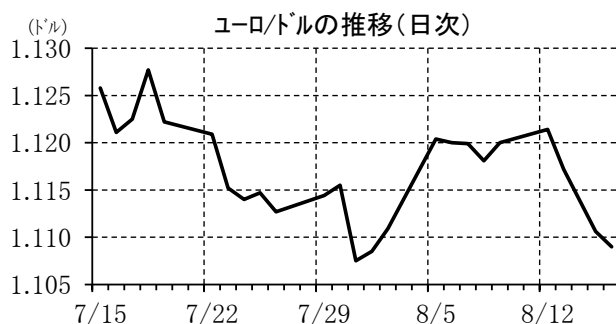
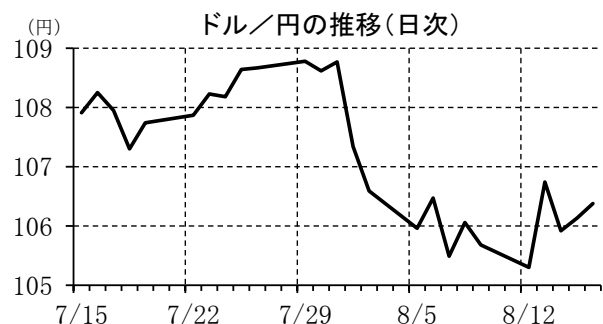
【債券利回り】



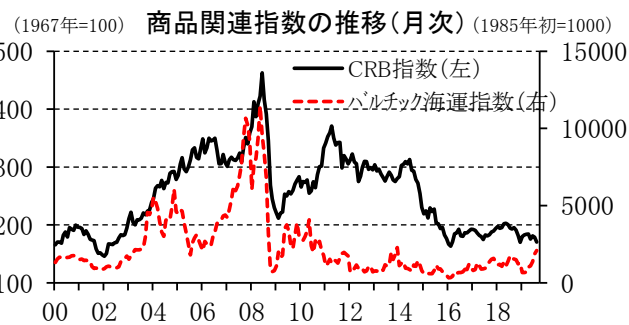
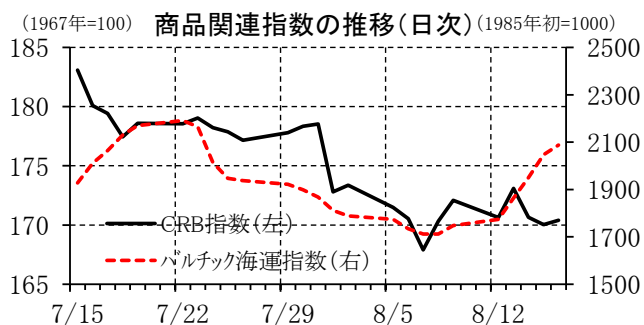
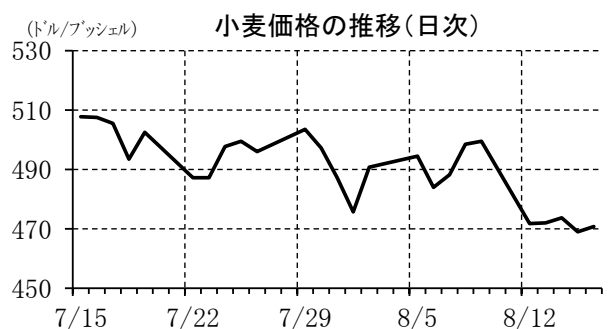
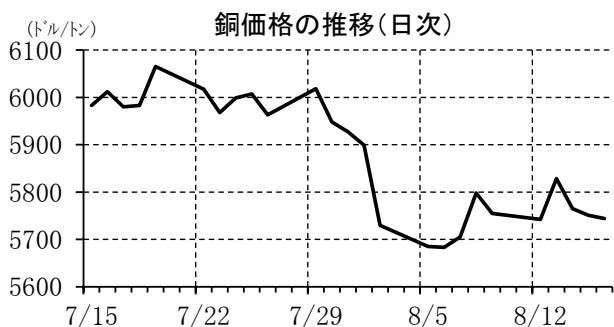
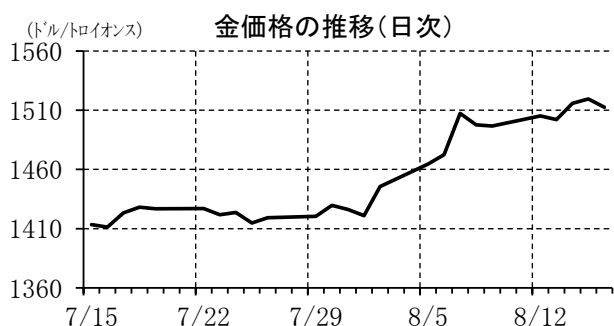
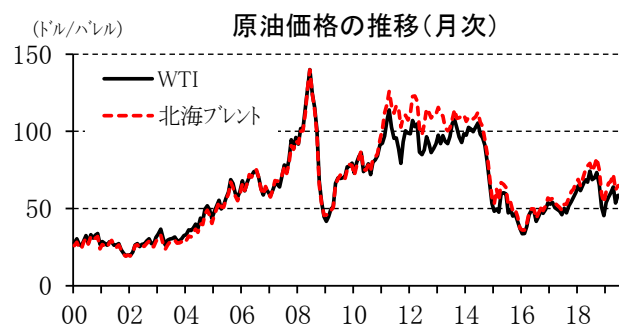
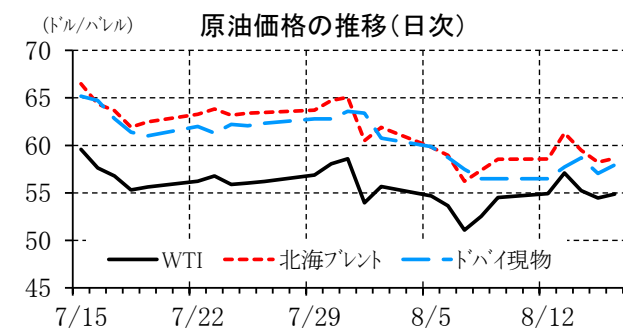
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。